

本研究の流れ（1年目・2年目）

拠点病院等の運用状況や進捗等を確認できる客観的な評価指標の開発と選定

ロジックモデルから考える指標案：研究班のコンセンサス形成

・がん診療連携拠点病院はどうあるべきか？ ・各指針の目標は何か？ 等

評価指標の洗い出しと整理

インタビュー調査の実施

既存データベースからの「拠点病院等の医療の質の評価」に資する指標の洗い出しと整理

がん対策推進協議会等における議論の整理

現場への聞き取り（現場が望む指標は？）
⇒ 都道府県がん拠点 & 地域がん拠点

- ★ 診療部門・がん相談支援センター・緩和ケア・地域連携等の部門の実務者への調査
- ★ 都道府県拠点へは、連携協議会あり方についても調査

拠点病院等の活動に関わる既存研究班へのヒアリングによる評価指標の洗い出しと整理

- ・高齢者
- ・小児がん
- ・AYA世代
- ・妊孕性
- ・緩和ケア
- ・希少がん
- ・ピアサポート
- 等

全拠点病院等に対するアンケート調査（+意見交換会）

「洗い出し・整理された評価指標案について」「現場が望む評価指標とは？」について

適切かつ客観的な評価指標（案）の策定

本研究の流れ（3年目）

策定した評価指標による評価の可能性の検証

選定された評価指標の測定に関するパイロット調査

＜各指標が、拠点病院等の実態を示すのに有効かどうかの検証を行う＞

- ・施設間差、地域間差などベンチマーキングができる指標か？
- ・同じ指標を経時的に測定することで、拠点病院の質の向上を測定できる指標か？
（アウトカム評価として、年齢調整生存率などにまで踏み込むか）

- ◆ 実際の指標について、データを提供してもらう（一部は中央集計で）。
- ◆ 同一都道府県内での拠点間の比較の可能性も必要
⇒ 複数の都道府県連携協議会と共同する。
- ◆ 対象：都道府県連携協議会へアプローチできる都道府県は？
⇒ 聞き取り調査の対象県にも早めにアプローチしておく

参加した都道府県との意見交換会

参加した都道府県に検討結果をフィードバック

⇒ 各地域のがん医療の発展に寄与するか等に関する意見交換会

研究の総括

「拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標」を提言する。

がん診療連携拠点病院等の多職種へのインタビュー調査

※ 参加を依頼する実務者の例

がん拠点病院の活動に係るスタッフの皆様

- ◇ 施設責任者
- ◇ がん拠点活動の中心となる医師（貴県の各専門部会の施設責任者など）
- ◇ がん相談支援センター
- ◇ 緩和ケアチーム
- ◇ 地域連携担当
- ◇ リハビリテーション部門、放射線関係、薬物療法関係、事務関係 …… など

※ 検討点

- ◇ がん拠点の医療者から見たがん診療の質の向上を評価できる（評価して欲しい）指標は何か？
- ◇ （医療者が考える）患者の立場からみて重要と考えられる指標は何か？
- ◇ 地域の医療機関からがん拠点に望む機能の充足を知る指標は何か？
- ◇ 医療従事者への教育、モチベーションや満足度を高める取り組みを評価できる指標は何か？
- ◇ がん拠点の経営を含むマネジメントの観点からの指標は何か？
- ◇ 都道府県協議会で話し合った方がよい事項、その活動を表す指標は何か？
- ◇ その他、活動に関わる困りごとは？ など
- 📌 指標でなくても、「こういうことを評価すべきだ」といった意見も収集する。

- 対面での調査が必要と考える。
- 調査する側も多角的な観点からのインタビューができるように、毎回3～5人のメンバーが交代で現地に参加する予定。

都道府県がん診療連携協議会へのインタビュー調査

都道府県がん診療連携拠点病院へのインタビュー調査

都道府県がん診療連携協議会のあり方に関して：

- (1) **新・整備指針にある「都道府県連携協議会の主な役割」「地域がん拠点の指定要件の都道府県協議会における役割」などの部分について：**（2以外で）
- ・感想は？
 - ・もっと書き込んだ方がよいと思われる事項は？
 - ・意味が不明と感じられる事項は？
 - ・違和感を感じる、必要性を感じない事項は？
- (2) **都道府県協議会としての活動内容に関して：**
- ・貴県で既に実施されてる有効と考える取り組みは？
⇒ その実現に苦労した点、推進のポイントは？
 - ・他県に拡大したい活動は？
 - ・他県には拡大できないと思われる活動は？
 - ・先進県であるからこそ評価して欲しい項目は？
 - ・都道府県協議会の何を評価したら、自県の立ち位置がわかるか？
 - ・貴県において、これから取り組んでいこうと思う事項は？
 - ・貴県で「必要性が大きい、解決への課題が大きい」と感じる事項は？
 - ・国あるいは外部（大学など）の支援があると良い事項は？
（資金以外）
- ★それを評価しベンチマーキングできる適切な指標は何か？
- (3) **都道府県協議会の活動に関する現在の問題点について：**
（4以外で）
- ・開催の負担（労力、費用）？
 - ・効果の評価の方法と結果を踏まえた改善は？
 - ・何が足りないか？
 - ・どうしたら現状を改善できるか？
- ★問題点を明確にできる指標は何か？
- (4) **都道府県協議会の持続可能性について：**
- ・最大の阻害因子は何か？
 - ・将来にわたって何ができるか？
 - ・持続可能性を高めるために何をしなければいけないか？
 - ・担当者の交代の際に、必要な要素は何か？
- ★これらを評価する適切な指標は何か？

インタビュー調査の進捗状況

都道府県拠点	地域拠点	施設種類
信州大 高知大 島根大	名古屋大 神戸大 富山大	(大学)
四国がん 北海道がん 愛知県がん 兵庫県がん		(がんセンター)
都立駒込 富山県立中央	諏訪赤十字高 知医療セ 岩 手県立中央島 根県立中央	(総合病院)

- 都道府県がん診療連携協議会：沖縄県・高知県・東京都
- 行政：長野県・高知県・島根県

ご協力いただいたご施設・皆様に感謝申し上げます。

date (2023)	対象
1月11日	研究班 (希少がん・川井先生)
1月25日	長野県 (信州大学病院)
1月26日	長野県 (諏訪赤十字病院)
2月3日	沖縄県 (県がん診療連携協議会)
2月9日	高知県 (高知大学病院)
2月10日	高知県 (高知医療センター・行政)
2月24日	研究班 (AYA・清水先生)
3月6日	愛媛県 (四国がんセンター)
3月20日	岩手県 (岩手県立中央病院)
3月27日	高知県 (県がん診療連携協議会)
4月7日	研究班 (小児がん・松本先生)
4月13日	島根県 (島根大学病院)
4月14日	島根県 (島根県立中央病院)
4月20日	北海道 (北海道がんセンター)
5月16日	研究班 (ピアサポート・小川先生)
5月17日	研究班 (妊孕性温存・鈴木先生)
5月25日	愛知県 (名古屋大学病院)
5月26日	愛知県 (愛知県がんセンター)
6月1日	東京都 (がん診療連携協議会) WEB
6月2日	東京都 (都立駒込病院)
7月5日	兵庫県 (神戸大学病院)
7月6日	兵庫県 (兵庫県立がんセンター)
7月31日	富山県 (富山大学病院)
8月1日	富山県 (富山県立中央病院)
8月17日	研究班 (緩和ケア・木澤先生)
9月12日	研究班 (高齢者・田村先生)